

第5回議会報告並びに意見交換会の質疑に対する回答

(意見交換会)

『防災無線、ごみ袋について』

Q. 広報のアナウンスの音声割れてしまって非常に聞きにくいときがあるので、改善して欲しい。

A. 防災行政無線による広報が聞きにくく大変ご迷惑をおかけいたしております。話者につきましては平日休日ともに職員で対応しておりますが、話し方や声量などに統一感がなく、今後職員教育を徹底してまいります。

今回の質疑では、広報のアナウンスの音声割れる、ということですが、防災行政無線に関しては「音が小さく聞こえにくい」「音が大きすぎてうるさい」など様々なご意見をいただいております。最近の住宅は気密性が高く、またゲリラ豪雨のときには子局のすぐ近くであっても雨音で放送内容がかき消されてしまい聞こえにくい場合があります。

そのような対策として、市では「みずほ防災メール」を開始いたしました。これは、防災行政無線の放送内容をメールでお送りするものです。メールは何度も見返すことができ、市外でも受信することができます。現在では約 3,500 人ものかたが登録されています。その他、防災行政無線を直接受信する防災ラジオ（本体 1,500 円、追加アンテナ 500 円）の販売、防災行政無線の放送内容を電話で確認することのできるテレフォンサービス、ホームページ上への放送内容の掲載をしています。

防災情報を多様な手段で発信しておりますので、多角的に情報を得て災害に備えていただきたいと思います。

Q. 瑞穂市のごみ袋は、口が狭く、紙くずを入れただけでも縦にさけてしまい、困ることがある。材質の面から改善して欲しい。

A. 市指定のごみ袋は、高密度ポリエチレン製で、厚みは0.035mm、サイズは、大50cm×90cm、小45cm×70cmのものを使用しています。ごみ袋を出す際には、大きいものは50cm以下に切る、生ごみは水切りをしっかりと行うことなどをお願いしています。

ごみ袋を丈夫にすることは、大きいごみや水を含んだ重いごみをそのまま出してしまうことになり、ごみ排出量の増大につながることも懸念されるため、現在のところは変更する予定はありませんが、今後、要望が多くなれば改善したいと思います。

厚みに関しては、他市町村と比較しても特別に薄いものではありません。通常の紙くず（コピー用紙程度）であれば裂けるものではないと認識しております。厚みのある紙であれば裂けることもあると思いますが、厚みのあるものは可燃ごみとしてではなくリサイクル古紙として排出をお願いしたいと思います。